

第15回社会鍼灸学研究会 2020

日時；2020年9月21日(月曜日、祝日)、10:00~16:30

会場；①学校法人 素霊学園 東洋鍼灸専門学校

〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-4-4

②Web会場 (zoom 予定)

主催；社会鍼灸学研究会

テーマ

COVID-19 と日本鍼灸

—COVID-19 禍中の日本鍼灸とそれを取り巻く状況を考える—

2019年の年末から始まったとされる中国を発生源とする新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、地球上に蔓延し、WHOは100年前のペストの流行を大きく凌ぐ規模の死者を予測しています。COVID-19禍は100年に一度の災害であるとする中、鍼灸に何ができるか悩み、自問した方も少なくないと思います。

東京都鍼灸師会が4月末に会員・その他に対して実施したアンケート調査によると、回答者416名中、来院者は「減っている」と「やや減っている」の合計の割合は、3月は76%以上、4月は96%以上であり、COVID-19拡大の影響は明らかです。

このような中で、日本の開業鍼灸師はどのような状況に置かれ、鍼灸教育施設ではどのような教育上の工夫をし、学生の為に今後どのような計画を建てているのでしょうか。また、これまでの自然災害の時に行った鍼灸師による災害支援は、この感染症に対してはどのような動きをしたのでしょうか。さらに、世界的にCOVID-19が拡大した状況下で、海外の鍼灸界はどのような状況にあったのでしょうか。

第15回社会鍼灸学研究会では、未曾有のCOVID-19のパンデミック下で、国内外の鍼灸界がどのような状況に置かれ、どの様に対処したのかを総括しておきたいと思います。

本研究会は、例年、1.5日の開催期間を設定し、一般研究発表とテーマ別の講演の2本立てで行って来ました。しかし、今年度の本研究会は「COVID-19と鍼灸」にテーマを絞った講演と討論を中心に、1日のみのWeb会議形式で開催し、参加希望者は遠隔からの参加形式とします。

また、例年行っている「研究発表」は、10月18日(日)とし、発表希望者と参加希望者はWeb開催形式で、発表・質疑・応答する方式とします。

研究会日程

10:00—10:05—開会の辞

10:05—11:25—日本鍼灸界とCOVID-19 —本会アンケート調査結果報告—
社会鍼灸学研究世話人会

11:25—11:50—あはき師養成校におけるCOVID-19の影響；
嶺聡一郎・専門学校 首都医校

11:50—12:20—総会

12:20—13:15—休憩

13:15—14:05—世界の鍼灸とCOVID-19(各25分)

・中国の対応 (仮題)；

渡邊大祐・小雀斎針灸治療院

・『北米東洋医学誌』に見る世界の対応 (仮題)；

水谷潤治・NAJOM主幹

14:05—15:20—COVID-19 に立ち向かう医療分野での支援者支援の状況(各 25 分)

- ・ 東大病院における実践 (仮題) ;
 粕谷大智・東大病院リハビリテーション科
- ・ 目黒区鍼灸師会の活動報告 (仮題) ;
 林真紀子 (りんご鍼灸院)
- ・ 医鍼連携グループの活動 (東方医学会) (仮題) ;
 赤羽 峰明 (あか羽鍼灸院)

15:20—16:20—総合討論

16:20 —閉会の辞